

人々から信頼される医師となるために。

 徳島市民病院

Tokushima Municipal Hospital

令和 7 年度
徳島市民病院
初期臨床研修
プログラム

 徳島市民病院

〒770-0812 徳島県徳島市北常三島町 2 丁目 34
TEL : 088-622-9323 FAX : 088-622-5313
E-mail : kanri@hosp.tokushima.tokushima.jp
HP : <https://www.city-tokushima-hosp.jp/>

病院見学はいつでも
お気軽にご連絡を！

徳島市民病院
事務部 総務管理課



理念・基本方針

「徳島市民病院 理念」

思いやり・信頼・安心

「徳島市民病院 基本方針」

- 一、医療の安全管理を徹底し、患者中心の医療を行います。
- 一、救急医療を含めた急性期医療と高度で専門性の高い医療を提供します。
- 一、地域医療向上のため連携を密にし、教育と研修に努めます。
- 一、災害時の救急患者の受け入れなど災害救急医療に対応します。
- 一、公共性と経済性に配慮して、経営の安定化に努めます。



「臨床研修理念」

徳島市民病院は「思いやり・信頼・安心」を提供できる医師となるために、
医師としての人格を涵養し、全人的医療の提供ができる能力を育てます。

「臨床研修 基本方針」

- 一、全人的医療を提供できるように、プライマリ・ケアの基本的診療能力(態度、技能、知識)を身につけます。
- 一、急性期病院としての役割を理解し、急性期疾患と救急疾患の初期治療を行える技能を修得します。
- 一、地域連携を理解し、地域の医療従事者と円滑な連携を行う能力を身につけます。
- 一、他職種連携によるチーム医療を実践し、他の職種と協調・協力する姿勢を身につけます。
- 一、地域保健を理解し、適正な医療を提供できるようにします。



「救急外来」

救急外来は地域の医療機関と連携し、役割分担を図りながら、緊急な治療を必要とする患者さま（二次救急）を中心に受け入れを行っています。また院内トリアージを行い、適切な救急対応が行えるよう努めています。平成24年よりICLSコースを開催しています。



「病床数・診療科など」

病床数	307床（一般病床271床、緩和ケア病床24床）			
診療科	・内科 ・呼吸器内科 ・循環器内科 ・消化器内科 ・血液内科 ・糖尿病・代謝内科 ・内視鏡内科 ・腫瘍内科 ・血液腫瘍内科 ・緩和ケア内科 ・腫瘍精神科 ・リウマチ・膠原病内科 ・外科 ・呼吸器外科 ・消化器外科 ・甲状腺外科 ・乳腺外科 ・大腸・肛門外科 ・肝臓・胆のう・膵臓外科 ・内視鏡外科 ・腫瘍外科 ・整形外科 ・形成外科 ・脳神経外科 ・皮膚科 ・泌尿器科 ・産婦人科 ・婦人腫瘍科 ・小児科 ・耳鼻咽喉科 ・眼科 ・リハビリテーション科 ・放射線科 ・麻酔科 ・病理診断科 ・臨床検査科 ・心臓血管外科 （外来のみ）			
職員の状況	644人（医師数85人、指導医数50人）※令和6年4月1日現在。 指導医数は指導医養成講習会修了者の人数。			
臨床指標 (令和5年度実績)	一日平均入院患者数………240.8人 一日平均外来患者数………430.5人 平均在院日数………10.2日 年間手術件数………3,826件 分娩件数………439件 救急患者総数………6,863件（1日平均18.8件） 救急搬送数………3,077件（1日平均8.43件）			

徳島市民病院 院長挨拶



地域住民の方々に 頼られる病院を目指す

現在の徳島市民病院は平成22年に屋上ヘリポートを有する11階建てとして造られ、病床数307床、全職員数644名の中規模な病院です。これまで、徳島市民病院は96年の歴史を有し、思いやり、信頼、安心を病院の理念のもと、地域医療を担ってきた中核病院であります。

診療面では85名(研修医を含む)の医師とコメディカルの多職種と連携してチーム医療を行っています。特に、がん、関節治療、地域周産期母子医療の3つのセンターを中心に、安全で質の高い医療を

提供しています。救急医療においても二次救急を中心に、年間約3000台以上の救急車と、6800名を超える救急患者を受け入れております。また、災害時医療においても15名のDMAT隊員を中心に体制を整えております。

また、初期研修医および医学部生の臨床研修病院として、徳島大学と密に連携して、魅力ある研修プログラムを作成して、多くの臨床経験を積んでもらうことを重視しています。

当院の研修モットーは「研修は

厳しく、しかし楽しく」です。社会に貢献できる常識を持った医師として、礼儀正しい社会人として育つように指導を心がけております。是非一度、見学・研修にお越しください。



徳島市民病院 院長
中野 俊次 Nakano Shunji

初期臨床研修について

経験を積むための プログラム

初期臨床研修は、将来の医師としての能力やキャリア形成に大きな影響を及ぼすため、どんな施設でどのような研修を開始するのかは極めて重要です。私自身を振り返ってみても、医師キャリアの1・2年目に学んだこと、経験したことは現在の自分の礎となっています。

当院における必修科目の研修は、内科24週、救急12週(うち4週は麻酔科、4週は救急室研修)、外科8週、産婦人科8週、小児科8週、精神科4週、地域医療4週及び一般外来4週です。地域医療は徳島県下の病院や診療所の協力を得て、一般外来や在宅医療での研修を行います。必修の研修が終了した残りの期間は、研修医が各自で自由に希望する診療科を選択して研修することができます。

基幹となる内科研修は、一般、消化器、呼吸器、循環器、内分泌・代謝、血液内科に分かれており、専門分野別に密度の高い研修を受けることができます。消化器や呼吸器、循環器内科では

内視鏡やカテーテル手技などを積極的に経験してもらいます。外科系の診療科では手術症例が非常に多く、初期研修医にも積極的に手術に参加してもらっています。産婦人科は徳島県トップクラスの分娩数を扱い、小児科とともに周産期医療の中心的役割を果たしており、分娩から新生児医療の経験を豊富に積めます。救急では救急担当医(内科または外科)の指導のもとで初期対応を行います。

各診療科での研修以外には、手技のスキルアップのための徳島大学医療教育開発センタースキルラボでの中心静脈カテーテル挿入や気管挿管、胸腔穿刺などの講習会や、院外から救急医療の専門医を招聘しての勉強会、院内の各診療科が企画した研修医セミナー、臨床検査・病理部門による臨床病理検討会などが定期的に行われ、広域かつ専門性の高い知識を習得できるような機会を数多く準備しています。学術活動も積極的に支援しており、研修医全員が学会発表や論文作成を

行っています。

当院は診療科間の垣根が低いことが特徴で、各科の協力体制が構築されており診療を迅速に進めることができます。さらに上級医と研修医の垣根も低く、科を問わず、上級医にいつでも相談できる環境が整っています。徳島県での研修を希望されている方は、病院見学や研修についていつでもご連絡下さい。

これからの長い医師人生において最も大切な最初の一步を徳島市民病院の初期研修医として踏み出してみませんか。皆さんが充実した研修生活を送れるように全力でサポートします。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。



臨床教育センター長
岸 史子 Kishi Fumiko

研修プログラム

マンツーマン方式を基本として指導を行う

医師としての人格を涵養し、将来の専門性に関わらず、医学・医療の社会的ニーズを認識し、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるように、プライマリーケアの基本的な診療能力を身につけることを目的とします。徳島大学病院及び臨床研修協力施設と協力して臨床研修を行います。内科24週、救急部門12週(うち8週は麻酔科4週、2年次の当直勤務4週を換算)、外科8週、小児科8週、産婦人科8週、精神科4週、一般外来4週及び地域医療4週を必修とし、残りは選択必修科及び選択科の研修を計36週行います。地域医療研修では、県内で在宅医療を行っている診療所などで研修を行います。

必修科目

68週／救急当直（週1回程度）

内科24週／救急12週（うち8週は麻酔科4週、救急当直を4週に換算）／外科8週／小児科8週／産婦人科8週／精神科4週／一般外来4週／地域医療4週

選択科目

36週／救急当直（週1回程度）

内科／外科／脳神経外科／整形外科／小児科／産婦人科／眼科／放射線科／皮膚科／泌尿器科／麻酔科／耳鼻咽喉科／病理診療科

プログラム例 A

1 年次											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
内科 8 週		外科 8 週		麻酔科 4 週	産婦人科 8 週		小児科 8 週	内科 8 週		救急 4 週	精神科 4 週
救急当直 1 回程度／週											
2 年次											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
地域医療 4 週	内科 8 週		外来 4 週	選択科目及び不足必修 36 週							
救急当直 1 回程度／週											

プログラム例 B

プログラム例 B

1 年次											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
内科 8 週		小児科 8 週		産婦人科 8 週		外科 8 週		麻酔科 4 週	内科 16 週		
救急当直 1 回程度／週											

2 年次

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
精神科 4 週	地域医療 4 週	救急 4 週	外来 4 週	選択科目及び不足必修 36 週							
救急当直 1 回程度／週											

臨床研修施設（協力病院・協力施設一覧）

協力病院



徳島大学病院

〒770-8503
徳島市蔵本町2丁目50-1



徳島健生病院

〒770-0805
徳島市下助任町4丁目950-1

協力施設



近藤内科病院

〒770-8008
徳島市西新浜町1丁目6-25



国民健康保険勝浦病院

〒771-4306
勝浦郡勝浦町棚野字鴻畑13番地2



沖の洲病院

〒770-0862
徳島市城東町1丁目8-8



虹の橋葵ホスピタル

〒771-4266
徳島市八多町三反地43番地



豊田内科

〒770-0861
徳島市住吉2丁目2-35



水の都記念病院

〒770-0051
徳島市北島田町1丁目46番11



美波町国民健康保険美波病院

〒779-2109
海部郡美波町田井105-1



イツモスマイルクリニック

〒770-0022
徳島市佐古二番町5-11



一般社団法人徳島市医師会

〒770-0847
徳島市幸町3丁目77



TAOKAこころの医療センター

〒770-0862
徳島市城東町2丁目7-9



鳴門山上病院

〒772-0053
鳴門市鳴門町土佐泊浦高砂205-29



つるぎ町立半田病院

〒779-4401
美馬郡つるぎ町半田中敷234-1



三好市国民健康保険市立三野病院

〒771-2304
三好市三野町芝生1270-30



かさまつ在宅クリニック

〒770-8054
徳島市山城西4丁目13-3



徳島往診クリニック

〒770-8053
徳島市沖浜東2丁目17

初期臨床研修医からのメッセージ

自由度が高く、安心して 業務にあたることができる

徳島市民病院初期研修医1年目の本田と申します。

研修医として働き始めて3ヶ月目の私が感じる市民病院の魅力について書きます。

まず、研修プログラムの魅力は自由度が高いところです。研修医同士で相談して、いつどの診療科を回るかスケジュールを決めることができます。1年次に選択科目をローテートすることも可能です。ローテートする診療科ごとに研修で特に学びたいことを提出することができるなど、個人の希望に合った研修を行えるようサポートしてくれる病院だと思います。希望すれば徳島大学病院など市民病院以外でも研修

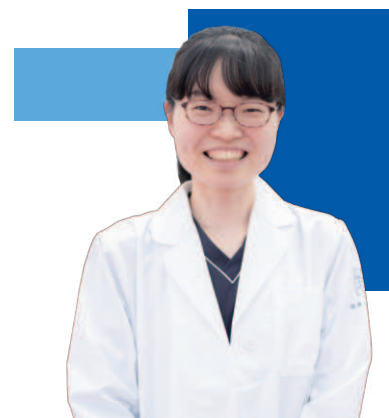
することができ、幅広い診療科で研修を行うことが可能です。

また、救急当直についても自由度が高く、当直に入る日にちを研修医同士で相談して決めることができます。当直は指導医の先生と行うので、安心して業務にあたることができます。

次に、市民病院の雰囲気の良さも魅力だと思います。上級医の先生方や研修医2年目の先輩方だけでなく看護師など他職種の方々も、皆さん優しく接してくれます。研修医1年目の同期たちとも、仲良く過ごしています。

私は、就職を機に徳島に来ました。初めは知り合いもおらず不

安でしたが、今は市民病院を研修先にして良かったと日々感じています。拙い文章ではありますが、少しでも興味を持っていただけると嬉しいです。ぜひ一度病院見学にお越しください、お待ちしております。



初期臨床研修医1年次
本田 萌 Honda Megumu

一人一人のニーズに合った研修を 行えるようサポートしてくれる

はじめまして。研修医2年目の千頭仁志と申します。今回は学生の皆様に向けて市民病院での研修のPRをさせていただきます。僕は学生の学外実習にて徳島市民病院で実習をさせていただきました。その際に研修医の先生方が仕事されている様子やアットホームな雰囲気を見て、自分もこのような環境で研修したいと考えて、徳島市民病院に応募させていただきました。各診療科の垣根が低く、分からないことがあれば気軽に相談しやすい雰囲気があり、研修医にとってとても恵まれた環境です。

また、研修プログラムの自由度が高いところも市民病院の魅力の

一つです。研修医の希望に応じて自分でスケジュールを決めることができ、一年次に選択科目をローテートすることも可能です。一人一人のニーズに合った研修を行えるようサポートしてくれる病院だと実感しています。

救急当直は、指導医の先生にも一緒に入って頂きます。指導医の先生から診察や手技を直接丁寧にご指導いただき、日々勉強になります。基本的に研修医がファーストタッチをすることになっており、2年間で多くの臨床経験を積むことができます。実際に1年間働いてみて、新しい環境に慣れることに必死で戸惑うこともありましたが、上級

医の先生方は優しく、教育熱心な方たちばかりで充実した日々を送っています。また、コミディカルの皆さんも優しくフォローしてくださり、いつも助けられています。初期研修先として徳島市民病院を選んだことを一切後悔していません。



初期臨床研修医2年次
千頭 仁志 Chikami Hitoshi



セミナー・イベント

幅広い知識を身につけるセミナー・研修会

田岡病院救急科の上山裕二先生をお招きし、救急医療に関する実践セミナーを毎年行っています。本セミナーは救急医療の魅力や、災害医療、心肺蘇生などの救急に関する知識を幅広く教えていただき、救急医療に必須のICLSの実技も行っています。そして1年次と2年次の各1回ずつ、基本的臨床能力評価試験を実施しております。今後力を入れるべき分野を把握し、初期臨床研修に役立てています。



交流を深め、楽しむ、イベント行事

市民の皆さんに徳島市民病院とその仕事を楽しく知ってもらうことを目的に市民病院まつりなど様々なイベントを年間を通して行っています。夏の恒例行事として医局主催のビアパーティーがあります。ビアガーデンに医師や看護師、院内の多職種が集い、屋上の心地よい風に吹かれながら飲み物を手に歓談します。また、徳島市民病院の阿波踊り連「眉誠連」では、毎年徳島市内の演舞場に職員一同躍り込み、市民の皆さんと一緒に楽しんでいます。



初期臨床研修医募集要項

応募資格	大学の医学部または医科大学を卒業し、医師免許を有する者 又は令和7年3月医師免許取得見込者				
募集人数	7名	研修期間	2年間	選考方法	書類選考及び面接
申込期間	令和6年8月16日(金)まで		※申込期間を延長する場合がございますので、 詳細は徳島市民病院ホームページをご覧ください。		
選考期間	申し込み受付後に日程調整し、応募者に通知します。				
提出書類	・卒業(見込)証明書 ・臨床研修申込書 (当院HPからダウンロード可 https://www.city-tokushima-hosp.jp/recruit/recResident/)				
申込方法	臨床研修申込書と卒業証明書、または卒業見込み証明書を徳島市民病院に持参いただくか、封筒表面に「初期臨床研修申込」と朱書きし、簡易書留郵便でお送りください。 持参される場合は、平日(8:30～17:00)にお願いいたします。				
給与等					
基本給	1年次 月額332,000円程度 2年次 月額343,000円程度		※地域手当、特殊勤務手当を含む ※地域手当、特殊勤務手当を含む		
賞与	給与の約4.5ヶ月分を支給				
その他手当	時間外勤務手当、通勤手当、宿直手当、特殊勤務手当、退職手当				
休日	土・日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)				
休暇	夏季休暇3日ほか忌引、婚姻、育児等に係る特別休暇あり 任用期間に応じて年次有給休暇				
社会保険	健康保険、厚生年金保険及び雇用保険は各法令の定めにより加入します。				
災害補償	労災保険 ※2年目以降は、地方公務員災害補償基金の補償対象となります。				
研修参加等	学会・研修参加などの旅費・参加費支給あり				
育児支援	子育て中の医師の育児支援を行っています。 1. 育児休業 子が1歳になるまで取得できます。 2. その他、妊産婦検診、子の看護休暇等の特別休暇があります。				
勤務時間	1日7時間45分(8:30～17:00)				

提出及び
問い合わせ先



徳島市民病院

事務部総務管理課庶務担当

〒770-0812 徳島県徳島市北常三島町2丁目34番地

TEL：088-622-9323 E-mail：kanri@hosp.tokushima.tokushima.jp